



2024年5月15日

各 位

上場会社 菊水ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 小林 一夫
 (コード番号 6912)
 問合せ責任者 常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
 (TEL 045-482-6912)

通期業績予想値と実績値との差異及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、2023年10月30日に公表いたしました2024年3月期の通期業績予想値と本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2024年5月15日開催の取締役会において、2024年3月期の期末配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

2024年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	12,370	1,680	1,720	1,150	137.32
実 績 値 (B)	12,488	1,853	1,919	1,300	155.38
増 減 額 (B - A)	118	173	199	150	
増 減 率 (%)	1.0	10.3	11.6	13.1	
(参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 3 年 3 月 期)	12,066	1,531	1,528	1,072	128.36

差異の理由

売上高は、中国の市況低迷による設備投資抑制の動きや半導体関連市場における在庫調整の影響がありました。グローバル需要を捉えるべく、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場、その中でも特にカーボンニュートラルや電動化を進めている分野に注力し、顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、新製品である双方向大容量直流電源PXBシリーズを中心に展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めたことにより、前回予想を上回る結果となりました。

損益面につきましても、売上高が増加したこと、並びに依然として原材料の長納期化や円安の影響はあるものの、納期対応のための部品調達コストや設備投資需要の変動に伴う海外製品の仕入が減少したこと、売上増加に伴い人件費等固定費の回収が進んだことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を上回る結果となりました。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前 回 予 想 (2024年2月28日発表)	—	43.00	43.00
今 回 修 正 予 想	—	47.00	47.00
当 期 実 績	0.00		
(参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 3 年 3 月 期)	0.00	38.00	38.00

修正の理由

当社の利益配当は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けており業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、企業体質の強化と今後の事業展開を勘案し、内部留保にも意を用い、決定する方針をとっております。

2024年3月期の期末配当につきましては、株主還元の充実を図るため、通期業績と財務状況等を総合的に勘案し、前回予想の1株につき43円から4円増配の47円に修正することいたしました。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上